

# 人権学習展開例

**主 題 名** 在日韓国・朝鮮人の人権問題の解決に向けて

**教 材 名** みんなに知ってほしいこと

**人権学習の視点** 個別的な視点「在日韓国・朝鮮人の人権問題」

**主題・教材について** 在日韓国・朝鮮人の思いにふれることで「在日韓国・朝鮮人の人権問題」を身近に感じさせる。また、韓国・朝鮮と日本の歴史に対する理解を通して、異なる民族や文化を尊重し、互いの生活や文化がより豊かになっていくことにも気付かせ、共に生きる社会を築いていこうとする態度を養いたい。

**ね ら い** 在日韓国・朝鮮人の人権問題を日本との歴史的背景を通して正しく理解することにより、異なる民族や文化を尊重し、共に生きる社会を築こうとする態度を養う。

**本時の展開** (1/2時間目)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	<b>写真の壺はどこで作られたか知っていますか。</b>				
	○学習の動機付けをおこなう。 「白磁壺」の写真を見せ、この壺が韓国・朝鮮で作られたことを知らせる。	一斉	○「白磁壺」の写真を見せ、印象や感想を発表する。	○自由に発言させる。ただし、鄭詔文氏の「真の国際人」という言葉にふれ、本時のねらいについて簡単におさえておく。	生徒資料「鄭詔文の文」及び高麗美術館所蔵「白磁壺」写真
展開	<b>日本と韓国・朝鮮の歴史を知ろう。</b>				
	○歴史から朝鮮と日本との関係を理解させる。	一斉 個別	○資料を見て、ワークシートを完成させる。	○日本が朝鮮の影響を受けてきたことや途中「朝鮮侵略」があったが、その後にかけて友好関係が長く続いたことを理解させる。 ○多くの在日韓国・朝鮮人が生活している背景を考えさせる。 ○皇民化政策や関東大震災の自警団のように、異文化を認めない意識や、思いこみやうわさで行動することがあることに触れる。そしてそれらが「在日韓国・朝鮮人の人権問題」につながっていることを考えさせる。 ○多くの人の努力で人権問題が少しずつ解決できることをおさえておく。	ワークシート1「日本と韓国・朝鮮の関係を理解しよう」
まとめ	○本時のまとめをする。	一斉	○壺の写真と鄭詔文氏の言葉を振り返る。	○鄭詔文氏の言葉について、教師の思いを述べる。	生徒資料「鄭詔文の文」「高麗美術館」